

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
哲学		選択	2	.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
神谷 直樹	C312	nkamiya	木曜日 10:30~12:20		
授業の目的・概要	西洋哲学の歴史的な流れに沿って、主体的に「哲学すること」に重点を置いた学習を通じて論理的思考力を養うとともに、人間の生き方や公共的な課題について多角的な視点から考察することの大切さを理解し実践することを目的とする。古代から現代に至る西洋の哲学・倫理思想について系統的に学び、現代の倫理的課題について問題提起を行う。 課題学習や Teams による遠隔授業を通して授業を行う。メールや Teams のチャット機能等を用いて、フィードバックや意見交換を行い、理解を深める。				
学習上の助言	毎回の授業で提出する課題レポート等を作成する際には、教科書だけでなく Web ページや図書館等を利用して適切な参考資料を収集・分析し、自らの考察を展開するようにする。遠隔授業の質疑応答に積極的に参加する。				
教科書	ヨーロッパ思想入門 著：岩田靖夫 出版社：岩波書店				
参考書	西洋哲学史 (全2巻) 著：熊野純彦 出版社：岩波書店				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	講義で取り上げる主要な哲学者の思想内容の要点を理解し、説明できる。			HSU(1)、HSU(2)	
②	論理的な思考方法を身につけ、問題や課題の解決に応用できる。			HSU(2)	
③	講義の内容に関連した質疑応答に積極的に参加できる。			HSU(5)	
④	主体的に選択したテーマに沿った文献を調査することができる。			HSU(2)	
⑤	主体的に選択したテーマに沿って論理的な文章を書くことができる。			HSU(2)、HSU(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス (この講義の概要)。古代ギリシアで誕生した哲学の特質を考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	教科書 I-1~3 を読んでおく。		6
2	「哲学は学ぶことができるか」について考え、「哲学すること」の意味を明らかにする。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 I-4 を読む。資料の収集。		6
3	ソクラテスの思想を手がかりに、「よく生きる」とはどういうことかについて考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 I-5 を読む。資料の収集。		6
4	プラトンとアリストテレスの思想を手がかりに、理想主義と現実主義について考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 I-5 を読む。資料の収集。		6
5	エピクロス派とストア派の思想を手がかりに、世界市民としての生き方について考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 I-5 を読む。資料の収集。		6
6	ギリシア人の文化的遺産としての民主主義と哲学の関連について考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 I を再読。資料の収集。		6
7	西洋文化の源流としてのヘレニズムとヘブライズム、キリスト教の特質について考える。課題レポートの提出、講評の確認。	印刷教材での授業	レポート課題に取り組む。教科書 III-1 を読む。資料の収集。		6
8	ルネサンスと宗教改革の思想を手がかりに、自由の意識と個人の自覚の意義について考える。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 II-1~6 を読む。資料の収集。		4
9	ガリレイやニュートンの思想を手がかりに、近代的な世界像の特質について学ぶ。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。科学革命の資料を調べ、要点を整理する。		4
10	ベーコンとデカルトの思想を手がかりに、近代哲学の特質について学ぶ。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 III-2 を読み、要点を整理する。		4
11	カントの思想を手がかりに、「自由」とは何か、永久平和は可能か、などについて考える。課題への取り組みと質疑応答	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 III-3 を読み、要点を整理する。		4
12	社会契約説と功利主義の思想を手がかりに、私益と公益の調和について考える。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 III-4 を読み、要点を整理する。		4
13	実存主義、構造主義、現象学、フランクフルト学派など、現代思想の潮流について学ぶ。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 III-5 を読み、要点を整理する。		4
14	ロールズの正義論を手がかりに、グローバル化の時代における人類の共生について考える。課題への取り組みと質疑応答。	同時双方向型授業	課題に取り組む。教科書 III-4-2 を読み、要点を整理する。		4
15	1~14 回の講義のまとめとして、哲学することの意義をテーマに討論を行う、レポートの講評を行う。	同時双方向型授業	課題に取り組む。1~14 回の講義の要点を整理する。		4
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	40	0	40	20	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	10	0	20	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	10	10	30	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	10	0	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	学期末にレポートを提出する。各自が選んだ哲学的テーマに関連する適切な文献・資料を収集し、それをもとに自分自身の考察をまとめる(40%)。				最終講義においてレポートの講評を行う。	
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	毎回の授業で教員が示した課題に取り組み、レポート(1400字以上)等を提出する。(40%)				提出されたレポートについては、個別に講評を行うとともに、履修者全員に全体講評をメール等で配信する。	
	②	✓						
	③							
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
その他	①		遠隔授業における質疑応答や討論に積極的に参加する(20%)。				質疑応答や討論の内容を文章にまとめて、履修者全員にメール等で配信する。	
	②							
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：神谷 直樹</p> <p>課題レポート等の冒頭の部分には、表題・学籍番号・氏名・提出年月日を必ず記入すること。課題レポート等の末尾には参考資料を明記する。また、課題レポート等をメールの添付ファイルで提出する際には、「全員に返信」しないように注意する。</p> <p>Teamsを使った遠隔授業を行う。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。</p>								